

## 言葉や文化 学び合う

### カナダの高校生と長崎短大生

佐世保市椎木町の長崎短大で20日、国際コミュニケーション学科の学生と、カナダの高校生12人が交流し、互いの言語と文化について理解を深めた。

同大は、韓国や中国の留学生受け入れなど国際交流に力を入れているが、カナダとは初めて。  
この日は、カナダの生徒が日本語の授業を体験。短



日本の学生(左)に教わりながら日本語で買い物の方を学ぶカナダの生徒  
|| 佐世保市、長崎短大

大の学生と一緒に「いちに、さん」と数えながら紙風船に挑戦したり、「これは何ですか」「いくらですか」と日本語での買い物仕方を学んだりした。授業後は初めて浴衣に身を包み、茶道の体験もした。同学科2年の山尾亜梨沙さん(19)は「バーベキューやパーティーでたくさん話したい。茶道や着物で日本文化を楽しんでほしい」、ティミ・シナル・ファストさん(16)は「日本人はすぐ『かわいい』と言うのが印象的でカナダにはない文化だと感じる。日本語を学んでたくさんの人と知り合いたい」と話した。  
生徒は31日まで、同学科の学生とキャンプやパーティーで親睦を深め、県内を観光する。

(梅本真実)